

“春風のように寄り添って！”

隠岐の離島に生きる高齢者の終末期介護を实践

講演テーマ

『 命のバトンをうけとるために 』

しばた くみこ

講師 **柴田 久美子**
NPO法人「なごみの里」代表

<講師からのメッセージ>

看取りは、逝く人から膨大なエネルギーをもらうことなんです。長い人類の歴史で人はエネルギーをバトンタッチしている。子どもたちが命の大切さを知らないというのは、前の世代が病院任せにして命のバトンを継いでないんです。

看取ったあとで景色をみると、くっきりと美しく見える。すごく感動します。抱きしめて送ったときにその方の良い心の魂が私のなかに入っていきからだと思っています。

朝起きて、手が動く、足で立てる、今までそれが当たり前だと思いがっていた私を、無言で我が身を持って悟ってくださったAさん(73歳)。Aさんとのご縁を頂いた日より、私は毎朝、我が手に、我が足に、限りない愛しさを感じ、この肉体に心から感謝を思っている。そして、今日一日この手を、この足を有り難く使わせて頂きますと祈る。

【講師の略歴】

- 昭和27年 島根県出雲市生まれ
- 昭和46年 島根県立出雲高等学校卒業
- 昭和48年 大阪YMCA秘書課卒業
- 昭和48年 日本マクドナルド(株)入社(平成1年10月退社)
- 平成1年~4年 スパゲッティ店自営(老人介護をするため閉店)
- 平成5年~10年 老人保健施設等の福祉施設で寮母を勤む。
- 平成10年~13年 隠岐郡知夫村のホームヘルパー勤務
- 平成13年11月 ホームヘルパー辞職し、「なごみの里」設立準備に入る。
- 平成14年4月1日 「なごみの里」開所
- 平成14年4月25日 NPO法人「なごみの里」承認取得
- 平成17年12月 第3回読売ブルデンシャル福祉文化賞受賞

講師プロフィール

お年寄りが望む自然な死を支えようと、隠岐郡知夫村に全国でも珍しい看取りのNPO法人「なごみの里」を設立。家族のようなつながりを軸に、新たな終末期介護のモデルを作ろうとしている。

- ・ 島根県いきいき活動促進委員会 委員
- ・ (財)ふるさと島根定住財団 経営委員
- ・ (財)島根ふれあい環境財団 21 理事
- ・ (財)しまねNPO活動支援センター運営協議会 委員

記

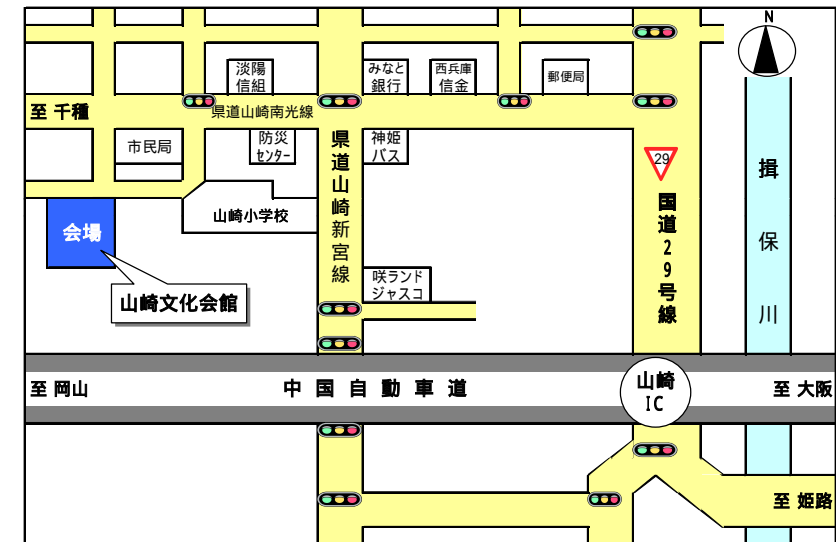
日時 平成19年6月22日(金)
午後5時30分 開場
午後6時 ~ 午後8時 講演会

場所 山崎文化会館 2階研修室 (地図参照)
宍粟市山崎町鹿沢88-1 TEL 0790-62-5300

会費 創造経営研究会会員無料(一般参加は1千円[税込み])

申込方法 「第52回講演会参加申込書」にご記入の上、平成19年6月11日(月)までにFAX(0790-62-4352)または郵送にて申込をお願いします。

お申し込み・お問合せ先
創造経営研究会事務局(株)稲田会計事務所内 担当:小林・西山
TEL 0790-62-7277 FAX 0790-62-4352



創造経営研究会事務局 行 (FAX 0790-62-4352)

第52回講演会参加申込書

| | | |
|---------|--|--|
| 会社(団体)名 | | |
| 参加者名 | | |